

第2回かごしま都市マスタープラン策定協議会の会議記録【概要】

会議の名称	第2回かごしま都市マスタープラン策定協議会
開催日時	令和元年8月1日(木) 14時00分～15時30分
開催場所	鹿児島市役所 東別館9階 特別中会議室
出席者 (委員)	委員21名(うち1名代理出席)、欠席5名、事務局 石塚会長、馬場委員、小山委員、志賀委員、西委員、岩崎委員、檜林委員、 福永委員、亀井委員、緒方委員、矢上委員、塩川委員、永山委員、脇野委員、 甲斐委員(代理)、井多原委員、松山委員、江口委員、原村委員、福岡委員、 古市委員
(事務局)	松窪建設局長、福留都市計画部長、阿部都市計画部参事(都市計画課長)、 山中都市計画課主幹、その他都市計画課職員
傍聴者数	3名(報道関係者1名、随行者ほか2名)
事務局	鹿児島市 建設局 都市計画部 都市計画課
会次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員紹介(変更委員のみ) 3 今回の議題と策定までのフロー 4 第1回策定協議会等における都市マスタープランに関する意見への対応方針 5 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1)現在の都市マスタープラン策定後の社会情勢の変化に対する取組状況 (2)今後取り組むべき都市づくりの課題と方向性 6 その他 <ul style="list-style-type: none"> (1)まちづくりシンポジウム・ワークショップの開催 (2)ニュースレター(案) 7 閉会
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海外では、空き家を大切にしている印象があり、宿泊施設として、空き家が普通に利用されているので、そのような視点も必要ではないか。 ○ 今後取り組むべき都市づくりの方向性の7つに加え、「県都である自覚」という観点を追加してはどうか。 ○ 新しいものをつくることも大事だが、既存の道路や公園などを市民の方がいかに使いこなすか、今後は、市民による維持管理・運営などが増えると考える。 ○ 産業や観光など、「稼ぐ都市づくり」という観点を追加してはどうか。 ○ 若い世代の意見を吸い上げ、若者が住みたくなる都市づくりを目指してほしい。 ○ 鹿児島の魅力を深める都市づくりを目指してほしい。 ○ 鹿児島市らしさを都市づくりや計画づくりに生かせるとよい。